



夏季企画展 戦争の時代を生きる市民 1931-1945

会期：令和4年8月2日(火)～8月31日(水) 午前9時～午後4時30分 ※月・祝日休
会場：生涯学習推進センター 3階 企画展示室、常設展示室

現代を生きる私たちにとって、非日常である「戦争」。でも、今から数十年前には戦争があり、それを日常として暮らしていました。その時所沢に住んでいた人々は、どのように暮らし、生きていたのか。当時の資料から、その時代を生きた人々の息遣いを感じてみませんか。



所沢母の会（三上秀夫家所蔵）

関連講座「戦時下所沢地域の銃後生活」

日時：8月20日(土) 午後2時～4時
会場：生涯学習推進センター 学習室201
講師：一ノ瀬俊也氏（埼玉大学人文社会科学部研究科教授）
定員：60名（先着順 / 所沢市在住・在勤・在学の方）
申込：8月2日(火) 午前9時から電話で受付
（午前9時から午後5時まで）※祝日休
申込先・問い合わせ：
所沢市文化財保護課 電話 04-2991-0308

展示解説 ※事前申込不要

- ① 8月14日(日) 午後1時30分～2時30分
- ② 8月24日(水) 午前10時30分～11時30分

※常設展示室臨時休室のお知らせ

企画展示の準備及び片付けのため、下記の期間は臨時休室となります。

休室期間：令和4年7月5日(火)～8月1日(月) / 令和4年9月1日(木)～9月27日(火)

*8月2日(火)～8月31日(水)の期間は、企画展示を開催します。

秋田家住宅特別公開

7月30日(土)



国登録有形文化財「秋田家住宅」

開催時間： ※いずれか一つの時間帯に参加

- ①午前10時～ / ②午前10時45分～ / ③午前11時30分～ /
- ④午後1時～ / ⑤午後1時45分～ / ⑥午後2時30分～

場 所：所沢市寿町29-7 ※駐車場はありません

申 込：往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加希望時間帯を第3希望まで記入し、郵送（1通に2人まで応募可）

締切り：7月12日(火)必着

定 員：60名（各回10名） ※希望者多数の場合は抽選

郵送先・問い合わせ：所沢市文化財保護課

〒359-0042 所沢市並木6-4-1 電話 04-2991-0308

各時間帯、解説あり

体験学習会

目指せ!昆虫博士 ~セミのぬけがらを探そう~



日時：令和4年7月23日(土) 午前9時~10時30分

会場：所沢航空記念公園 (航空発祥記念館前 集合)

講師：埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター職員

定員：市内在住の小学生とその保護者 申込先着15組 (小学生1名と保護者1名で1組)

申込：7月1日(金) 午前9時から電話で受付 (午前9時から午後5時まで) ※祝日休

申込先・問い合わせ：所沢市文化財保護課 電話 04-2991-0308

しゅるいによって、
ぬけがらの形も
ちがうのかな?



第24回三ヶ島葎子資料室講演会

「浪漫旅の葎子・写実旅の葎子」

日時：令和4年9月27日(火) 午後2時~3時30分

会場：三ヶ島まちづくりセンター (三ヶ島公民館)

所沢市三ヶ島5-1639-1

講師：沖 ななも氏 (歌人 / 歌誌「熾」代表、現代歌人協会常任理事他)

定員：申込先着100名

申込：9月1日(木) 午前9時から電話で受付 (午前9時から午後5時まで) ※土日・祝日休

申込先・問い合わせ：所沢市文化財保護課 電話 04-2991-0308



三ヶ島葎子

多くの方のご参加を
お待ちしております

正岡子規も所沢に来た!?

〈ふるさと研究市民トピックvol.25〉

正岡子規(1867-1903 / 明治期の俳人、歌人)は、伊予松山の生まれで、本名は常規(つねのり)、別号は、瀬祭書屋(だっさいしょおく)主人・竹の里人(さとびと)と称し、明治23年に帝国大学文科大学哲学科に入学、明治24年国文学科に転科、明治26年3月に帝国大学を退学しています。

明治24年11月に、蕨、熊谷、川越などを廻り、武蔵野の風趣を賞して所沢から田無方面に向かう旅行をしています。(*1)

「自分が俳句に熱心になった事の始りは趣味の上からよりも寧ろ理窟の上から来た原因が多く影響してをる。(中略) はじめて「猿蓑」を繙(ひもと)いた時には一句々々皆面白いやうに思はれて嬉しくてたまらなかつた。其頃別に「三傑集」の端本を一冊持つてをって、其も面白い句が多いやうに思ふた。これが自分が俳句に於ける進歩の第一歩であつた。少し眼が開いたやうに思ふので旅行をして見たくて堪まらなくなつて三日程武蔵野を廻つて来た。此時得た句が

風や荒緒(あらお)くひこむ菅の笠 夕日負ふ六部背高き枯野かな 雲助の牽丸黒き櫓火(ほたび)かな
などゝいふので、これでも其當時よほど旨い句のやうに思ふてゐたのである。」

(『瀬祭書屋俳句帖抄』上巻 [序]「瀬祭書屋俳句帖抄上巻を出版するに就きて思ひつきたる所をいふ」)(*2)

また、明治25年4月10日に文科大学の遠足で教授学生一同と、所沢に来ています。

「一昨日ハ文科の運動會にて狭山所澤などいふ處へ漫遊致し候」

(明治25年4月12日付 河東銓様、河東乗五様 宛 子規の書簡)(*3)

帰途、小金井を過ぎたあたりで、子規が俳句談をすると、菊池寿人が先んじて一句を作る。なればと子規が和歌を作り、寿人と数首を競いあつたようです。(*4)

〈参考資料〉*1…『川越閑話』(川越叢書 第1巻) 岸 伝平/著 国書刊行会 1982年及び

『埼玉県の不思議事典』金井塚良一他/編 新人物往来社 2001年

*2…『子規全集』第3巻(俳句3) 1977年及び第5巻(俳論・俳話2) 正岡子規/著 講談社 1979年

*3…『子規全集』第18巻(書簡1) 正岡子規/著 講談社 1979年

*4…『子規全集』第6巻(短歌・歌会稿) 正岡子規/著 講談社 1977年及び

『子規全集』第22巻(年譜・資料) 正岡子規/著 講談社 1978年

所沢市教育委員会 文化財保護課 ふるさと研究グループ

所沢市並木6丁目4-1 Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.lg.jp